

ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとして地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

ありがとう

ファミリーマート ありがとうの11th 手紙コンテスト

ありがとうの手紙コンテストは、こどもたちの健全な成長、豊かな心づくりを目的とした次世代育成の取り組みです。「感謝の気持ち」は人と人とのコミュニケーションの基点となり、地域社会活性化へと寄与します。2009年からスタートして累計36万通の「ありがとう」が全国から寄せられました。また、2019年度は文部科学省後援事業となった他、過去の受賞作品が2社の道徳の教科書（2018年度）に掲載され、学校教育にも活用されています。最優秀作品賞の表彰式は、受賞者が通う小学校で、ご家族や近隣店舗の店長、ファミリーマート社員も参加して開催されます。こどもたちの感謝を地域の方々に知ってもらい、たくさんの「ありがとう」を届けるため、受賞作品を店頭や店内放送で紹介しています。



ファミマこども食堂

ファミリーマートは地域社会の交流促進の場として、2019年4月から地域のこどもたちと保護者に参加いただける「ファミマこども食堂」を開催しています。地域の方が共にお食事をしながら、店内ツアーやお買い物体験のプログラムを通じて、楽しく交流する機会をご提供しています。ファミリーマートは地域社会の一員としてこどもたちの安全だけでなく成長も見守っていきます。



ベルマーク運動への参加

2008年からベルマーク運動へ参加し、学校の設備や教材支援に取り組んでいます。販売するおむすび全品にベルマークをつけるだけでなく、店頭でベルマーク回収も行っています。お預かりしたベルマークは店舗最寄りの小学校へお届けし、地域貢献に取り組んでいます。



企業訪問／出前授業

中学生や高校生を対象に「企業訪問」や「出前授業」の受け入れを行っています。「コンビニが地域社会で果たす役割」や「職業講話」など、学校や学生が関心のあるテーマについてファミリーマート社員がわかりやすく講義し、学ぶ機会を提供しています。



ベルマークによる被災地支援

災害によって大きな被害を受けた小学校にベルマークを寄贈し、被災地支援を行っています。店頭、ファミリーマート本社、食品製造委託工場などで集められたベルマークは点数を集票し、各小学校へお渡ししています。2019年度は10校の小学校に合計21万点を寄贈し、学校設備の充実にお役立ていただきました。



こども店長／職場体験

店舗で楽しみながら社会のしくみを学んでもらうための取り組みです。ユニフォームを着用して、レジや袋詰めといった接客体験をしたり、商品を選びやすいように並べるなど、ファミリーマートの仕事を体験していただけます。



ファミリーマート夢の掛け橋募金

募金していただいたお客さまと、社会的活動を行うNGO/NPO団体との“掛け橋”になり、地球とこどもたちのために活動を行いたいという想いからはじまった店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」。1993年からの累計金額は約65億円となりました。お預かりした募金は企業寄付を加えて3団体に寄付し、次世代育成支援・環境保全の5つの事業に役立てられています。また、災害時には被災地支援募金として被災地域にお届けしています。



ファミリーマートの募金累計総額 **64億6,845万7,064円**
(1993年～2019年10月末現在) 店頭募金・企業寄付・Famiポート募金、義援金などを含む。
* マッチングギフト・企業寄付として募金総額に対して、一定の比率を掛けた金額を上乗せして寄付しています。

森の教室

国土緑化推進機構が主催する「森の教室」を夢の掛け橋募金によって支援しています。森のすばらしさ、森が果たす役割を園児が学ぶことができる全国循環型のこのプログラムでは、自然の大切さを学んだ後、園児が植えて大切に育てたどんぐりの苗を植樹するところまで行います。2012年からはじまった「森の教室」の開催回数はこれまでに220回を超え、約2万4千人のこどもたちが参加しています。



国連WFP学校給食支援

「世界の飢餓を撲滅する」ために活動する国連WFP協会を2006年から継続的に支援しています。2016年からは「ミャンマー連邦共和国における学校給食支援」に寄付し、ミャンマーのこどもたちの成長を支援しています。



© WFP / Gaurab Tewari



セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する拠点として、こどもたちを見守るお手伝いをしています。

